町消防団辞令交付式

町民の安心安全守ります

　町消防団の辞令交付式が構造改善センターで行われ、退団・昇格・入団辞令がそれぞれ交付されました。
　添田孝利新団長は「新たに６人の団員と２人の女性消防隊を迎えることができ、心強く思う。町民の安全安心を守るため、訓練に励んでほしい」と訓示しました。
　式終了後は規律訓練が行われ、団員らが整列・行進など一連の動作を確認しました。

添田団長から辞令を受ける新入団員

法務省の「人権の花運動」

小学校に花の種贈呈

　法務省の「人権の花運動」の一環として、町内の２つの小学校で花の種などの贈呈式が行われました。
　この運動は、花を育てることで子どもたちに優しさと思いやりの心を育んでもらうことを目的に、昭和 57 年から実施されています。鏡石一小で行われた贈呈式では、町人権擁護委員の髙原芳昭委員、竹内陽委員から代表児童に花の種とプランターが贈られました。

鏡石一小で行われた贈呈式

新型コロナ対策に役立てて

婦人会が手作り雑巾寄贈

　町婦人会の仲沼登美子会長と門脇京子副会長が町役場を訪れ、新型コロナウイルス感染症対策などに役立ててほしいと、雑巾 70 枚を寄贈しました。
　寄贈された雑巾は、町婦人会の会員が１枚１枚手作りしたもので、今後、幼稚園での消毒作業などに有効活用していきます。また、町婦人会では随時会員を募集しています。（問い合わせ先：町公民館　☎ 62-2031）

遠藤町長に雑巾を手渡す仲沼会長（中央）

町スポーツ少年団結団式

さらなる飛躍を誓う

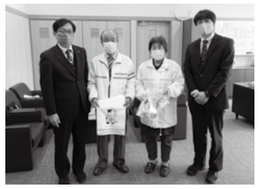
　町スポーツ少年団の結団式が町公民館で行われ、団員らがさらなる飛躍を誓いました。
　式では、昨年度活躍した選手の表彰が行われた後、佐浦成美本部長が「新学年が始まった。団の活動に積極的に参加してほしい」と挨拶しました。続いて佐浦本部長から各団体の代表者に団旗が授与され、団員らは今後の活動や各種大会に向けて気持ちを新たにしていました。

佐浦本部長から団旗を受ける団員

シートベルト着用を呼び掛ける役員ら

町交通安全協会と交通安全母の会

春の全国交通安全運動 各種啓発活動を実施



鏡石一小（写真左）と鏡石二小（写真右）に啓発グッズを贈呈

　４月６日～ 15 日の春の全国交通安全運動に合わせ、町交通安全協会と町交通安全母の会が啓発活動を行い、運転手や同乗者にシートベルトの着用徹底を呼び掛けました。
　また、両団体の会長が町内２つの小学校を訪問し、新入学児童らに活用してほしいとランドセルカバーや交通安全マスコットなど啓発グッズを贈呈しました。

牧場のあーさー♪と行く “まちの文化財探訪記”

　鏡石町内には、先人たちの残した貴重な文化財が数多くあり、次の世代に伝えるため、保護・保存には町民の皆さんの協力が必要です。
　『温故知新』 新しきまちづくりの糧となることを願い、町の文化財を紹介していきます。さあ、皆さんも牧場のあーさー♪と一緒に文化財を訪ねましょう。

【第３回】正和碑伝型板碑

（所在地：成田 405 番地）

　この板碑は、成田地区内を流れる鈴川のそば、成田浄化センターの近くにあります。
　白河風土記という古い書物には「成田村糠塚に稲荷の祠があり、その近くに高さ八尺、幅四尺、厚さ八寸の梵字を刻した大日石がある。風呂屋敷という所で風呂台に使っていたが、旅僧が来て『これは大日の碑だ』と言われここに移した」と書かれています。
　また、地域の伝承では、この碑は鈴川の橋材に使用されていたが、馬に乗ってこの橋を渡ると落馬することが多かった。魚取りをしていた村人がこの石に梵字があることを見つけ、これは恐れ多いことだとして近くの白山神社に移したと伝えられています。
　どちらの説が正しいか、今は明らかではありません。
　種子（仏を表す梵字等のこと）は「アーンク（胎蔵界大日如来）で、字は他に類例を見ない大ぶりで、中央の下寄りに正和二年（＝ 1313 年）と刻まれており、地中部分に施主名が隠れていると思われます。

牧場のあーさー♪の「ここが Point ♪」
①木に囲まれていて、静かな時間の流れを感じられるモ～
②きれいな大きな板碑で、びっくりするモ～

●問い合わせ先　町公民館　☎ 62-2031